①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・図形の性質を調べるのに，「折り返す」「まわす」などの具体的な操作をしてきている。

○既習とつなぐ見方・考え方

・図形的な直観に基づく推測によって，図形の性質を考察することができる。

教材研究ノート№6-B-1

≪学習問題≫

次の５つの文字の中で，２つに折ってぴったり重なるのは　どれでしょう。　　　Ｍ　Ｎ　Ｏ　Ｓ　Ｘ

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

②見通し: ぴったり重なるかどうか調べるにはどうしたらよいか。

→　実際に折って確かめて重なる図形の特徴を考えればよい。

②学習課題: 実際に折って確かめて，重なるものと重ならないものを比べ，重なるものにどんな特徴があるか考えよう。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

③個人追究：文字を書いた学習カードを，実際に折って調べる。

→「Ｍ，Ｏ，Ｘは真ん中で縦に折ると重なるなあ」

　「ＯやＸは横に折っても重なるなあ」

　「Ｎ，Ｓは重ならないぞ」

④共同追究前半（解法の比較検討）

「折って重なる図形に共通していることはなんだろう？」

→「対応する２点を結ぶ線分が，対称の軸と垂直に交わり，その交点から線分の両端までの距離が等しい」

④共同追究後半（思考を深める）

「線対称な図形の『対称の軸』は，１本だけだろうか」

→「Ｍは１本だけだけど，Ｘは２本（４本）ある」

　「Ｏは対称の軸が無数にある」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・対応する２点を結ぶ線分は，対称の軸と垂直に交わり，その交点から線分の両端までの距離は等しい。

・対称の軸は１本とは限らない。

⑥定着･活用問題

○次の文字を線対称な図形と，そうでない図形に分けなさい。

また，線対称な図形は対称な軸をかき入れ，線対称でない図形

は，なぜ線対称でないかについて説明しなさい。

　　　　　　　Ａ　Ｅ　Ｋ　Ｗ　Ｚ

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・身近なアルファベットから対称な図形を見つける活動を通して，線対称の意味や性質を理解できるようにするとともに，日常生活に対称な図形が用いられていることを実感的に理解させたい。

・どこを折り目として折ればピッタリ重ねることができそうか，論理的な面だけでなく，直観的な側面も大切にして，数学的な思考力・表現力を育てたい。

【板書計画】